第2講　中央集権国家「日本」の成立

PART1 ヤマト政権の成立

Chapter1　ヤマト政権の成立

目標

古墳の形式について知ろう。

邪馬台国連合とヤマト政権の王権に関する大きな違いは何だろう？

1　古墳の登場→古墳時代前期

①**前期**（３世紀中頃～４世紀後半）

３世紀中頃，近畿地方中央部～瀬戸内海沿岸にかけての地域で，

有力な個人の墓は弥生時代の墳丘墓から**古墳時代**の〔1　　　　〕へ発展した。

※古墳時代は３世紀中頃～７世紀で，**大和時代**ともいう。３世紀の出現期古墳に対し，

７世紀の飛鳥時代に作られた古墳は終末期古墳と呼ばれる。

②形式

畿内・西日本を中心に〔2　　　　　　　　　　〕，東日本では**前方後方墳**が多い。

円墳や**方墳**も大量にある。

③特徴

A　墳丘上に〔3　　　　　〕を並べる

→**円筒埴輪**・形象埴輪。

B　斜面は葺石で覆われ周囲には濠のある古墳も

C　〔4　　　　　　　〕**石室**や**粘土槨**に埋葬

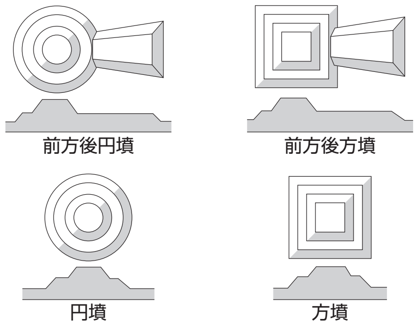
D　副葬品→**被葬者の司祭者的性格を表す**

三角縁神獣鏡などの銅鏡，

鍬形石・車輪石などの腕輪型石製品，

勾玉・管玉などの

呪術的・宗教的な副葬品が出土。



古墳の形式

箸墓古墳

④代表的な前期古墳

〔5　　　　　〕，**黒塚（奈良県）**，

椿井大塚山（京都府）など。

2　古墳時代の暮らし

①住居

［6　　　　］は周囲に環濠・柵列をめぐらした**居館**（群馬県の**三ツ寺Ⅰ遺跡**など）を営むが，庶民は濠のない集落（群馬県の黒井峯遺跡など）を形成。

※５世紀には竪穴住居の壁に**カマド**が設けられるようになった。

②土器

弥生土器の系譜を引く赤褐色の［7　　　　］に加え，

５世紀以降は朝鮮半島から伝わった硬質で灰褐色の［8　　　　］も使用。

③衣服など

豪族は絹の衣と袴（男），衣と裳（女）など上下に分かれた衣服，

庶民は麻を使用した衣服を着用した。

3　ヤマト政権の成立

①［9　　　　］**〔大和王権〕**の成立→邪馬台国論争の決着次第

大和（奈良県）を中心に，**遅くとも４世紀中頃までに**九州の一部～中部地方を統一。

５世紀には畿内の平地（奈良盆地・大阪平野）で前方後円墳が巨大化，勢力範囲も九州の大半～東北地方の一部まで拡大。

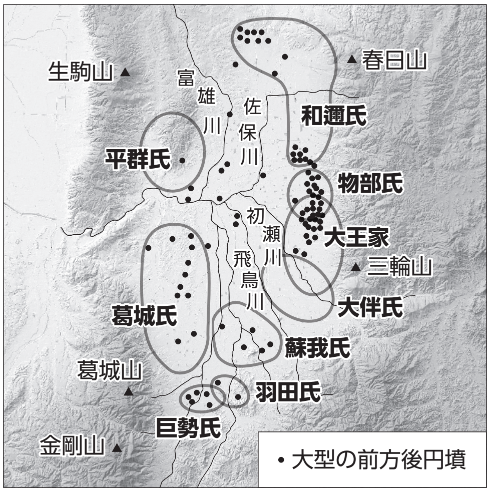
②性格

大和地方に本拠地を持つ，

［10　　　　］**を中心とした**

有力豪族の連合政権。

※邪馬台国連合とは違い**世襲王権制**をとる。



ヤマト政権の勢力分布

まとめ

古墳には，前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳などがある。

邪馬台国連合の共立王権制に対し，ヤマト政権は世襲王権制をとった。

Chapter２　４～５世紀の東アジア

目標
４世紀末以降，倭が朝鮮半島に進出したのはなぜだろう？
ヤマト政権の大王ですら中国南朝の皇帝に朝貢したのはなぜだろう？

1　4～5世紀の中国と朝鮮半島

①中国

東晋・五胡十六国から〔[1]　　　　　　〕**時代**へ。

※中国の周辺地域への支配力が弱まり，国家形成が進む。

②朝鮮半島

A　〔[2]　　　　　　〕の強大化（４世紀前半）→北部

313 年に**楽浪郡**，翌年に帯方郡を滅ぼして南下。三韓を圧迫。

B　新国家の成立および現状維持（４世紀半ば）→南部

馬韓から〔[3]　　　　　〕，辰韓から〔[4]　　　　　〕が統一国家を形成するが，

弁韓は**加耶〔加羅〕諸国**と呼ばれ，小国分立の状態が続く。

※『日本書紀』では加耶諸国を**任那**と呼び，「日本府」が置かれたとしている。

4～5 世紀の東アジア

2　4世紀の倭 — 空白の４世紀 —

４世紀末～５世紀初め，先進技術と**鉄資源の獲得**を目的に，倭が朝鮮半島に進出。

高句麗の首都＝丸都があった中国吉林省の**好太王〔広開土王〕碑**には，

辛卯の年（391 年）以降，倭が南下してきた高句麗と交戦して敗れたと刻まれている。

3　5世紀の倭 — 中国の歴史書に再登場 —

朝鮮半島南部における外交・軍事上の立場を優位にするため，

５世紀初めからはヤマト政権の大王である〔5　　　　　　　　〕

＝**讃・珍・済・興・武**が，中国の**南朝**に朝貢して冊封体制に組み込まれた。

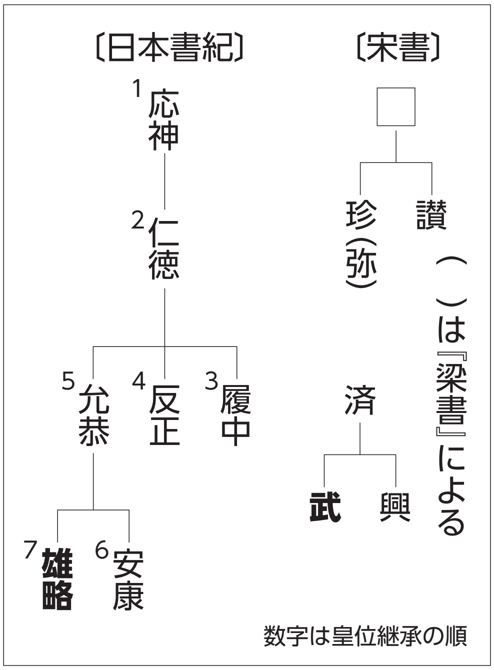
①男子による世襲王権制の確立

②『〔6　　　　　〕』**倭国伝**

宋の正史で，５世紀末に梁（南朝）の沈約が紀伝体で編纂した。

昇明二年（**478 年**），**倭王武〔雄略天皇＝ワカタケル大王〕**が，

順帝に上表文を送ったことも記されている。



倭の五王と天皇

稲荷山古墳出土鉄剣と銘文

まとめ　先進技術と鉄資源を手に入れるため，倭は朝鮮半島に進出した。
朝鮮半島南部における立場を有利にするため，大王は南朝に朝貢した。

第 2 講　PART 1　確認問題

1 前期の古墳で特に東日本で多く見られる形式はどれか。

① 円墳　② 方墳
③ 前方後円墳　④ 前方後方墳

2 出現期の古墳について，埋葬施設と副葬品の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 竪穴式石室・呪術的副葬品
② 竪穴式石室・軍事的副葬品
③ 横穴式石室・呪術的副葬品
④ 横穴式石室・軍事的副葬品

3 前期古墳に**あてはまらないもの**はどれか。

① 箸墓古墳　② 椿井大塚山古墳
③ 五色塚古墳　④ 黒塚古墳

4 群馬県にある，周囲に環濠・柵列をめぐらした豪族の居館の遺跡はどれか。

① 加茂岩倉遺跡　② 三ツ寺Ⅰ遺跡
③ 唐古・鍵遺跡　④ 黒井峯遺跡

5 中国東北部から朝鮮半島北部に拡大し，313 年に楽浪郡を滅ぼした国はどこか。

① 百済　② 新羅
③ 高句麗　④ 北魏

6 朝鮮半島南部で，4 世紀半ばに馬韓から統一国家を形成した国はどこか。

① 加耶諸国　② 任那
③ 新羅　④ 百済

7 倭の五王が中国の南朝に朝貢したことが記されている中国の歴史書はどれか。

① 『魏志』倭人伝　② 『宋書』倭国伝
③ 『漢書』地理志　④ 『後漢書』東夷伝

8 順帝に上表文を送ったワカタケル大王の倭王としての名称はどれか。

① 珍　② 興
③ 済　④ 武

第 2 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④　③の**前方後円墳**は，畿内・西日本を中心に多く見られる。

2 解答：①　横穴式石室は後期の多くの古墳で用いられた。また，副葬品は中期以降に軍事的色彩が強まった。

3 解答：③　③の五色塚古墳は中期古墳の代表例である。

4 解答：②　①と③は弥生時代の遺跡，④は庶民が住んだ濠のない集落跡である。

5 解答：③　**高句麗**は，313 年に**楽浪郡**，翌年に帯方郡を滅ぼして南下し，三韓を圧迫した。

6 解答：④　①の**加耶〔加羅〕諸国**は弁韓のことで，小国分立の状態が続いた。②の**任那**は加耶諸国のこと。③の**新羅**は辰韓から統一国家を形成した。

7 解答：②　『**宋書**』**倭国伝**は宋の正史で，５世紀末に梁（南朝）の沈約が紀伝体で編纂した。

8 解答：④　**ワカタケル大王**は**雄略天皇**のことで，**倭王武**とも呼ばれる。